

事例集の作成

研究分担者	吉森 和宏	千葉県衛生研究所健康疫学研究室 主幹
研究分担者	安藤 雄一	国立保健医療科学院生涯健康研究部 特任研究官
研究協力者	小栗 智江子	愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 課長補佐
研究協力者	池田 康幸	埼玉県三芳町健康増進課 課長
研究協力者	長 優子	公益社団法人日本歯科衛生士会 理事
研究代表者	田野 ルミ	国立保健医療科学院生涯健康研究部 上席主任研究官

研究要旨

【目的】

本研究では、田野らが行った令和4年度（2022年度）の自治体における「食育における歯科口腔保健の推進」に関する実態調査：聞き取り調査での事例の中から、令和5年度に更に内容を簡潔にするとともに新たに事例を増やし、歯科口腔保健を専門としない市区町村の食育担当者を対象とした「食育における「歯科口腔保健との協働」実践に向けた手引き」のライフステージ別にみた「食育における歯科口腔保健の推進」の普及を図ることを目的として、食育担当者の参考となるような「食育担当者に向けた「食育における歯科口腔保健の推進」事例集」を作成した。

【方法】

事例対象は、全国の市区町村が実施している既存の食育事業に歯科保健の要素が入っている事業のうち、本研究班の安藤らが行った令和4年度（2022年度）の自治体における「食育における歯科口腔保健の推進」に関する実態調査、田野らが行った令和4年度（2022年度）の自治体における「食育における歯科口腔保健の推進」に関する実態調査：聞き取り調査および研究担当者等による情報をもとに、全国の市区町村が取り組みやすいと思われるライフステージごとの22事例を選定した。事例項目は、事業名、アピールポイント、概要、目的、目標、対象、実施年・時期、事業形態、実施内容、歯科的要素を加味・導入したきっかけ、職種、連携団体等、連絡先とした。事例の収集方法は、研究代表者、研究分担者および研究協力者が、対面、オンライン、電子メール等を用いた。

【結果】

事例の対象層のライフステージは、乳幼児3、園児等2、小学生3、園児等・小学生・若年層・中年層（未就学児から小学生までの児童とその保護者）1、中学生1、若年層1、中年層3、高年層3、全ライフステージ5であった。事例の内容は、啓発（媒体作成）11、健康教育21、保健指導16、イベント3、その他9であった。事例の形態は、直営18、委託1、一部委託2、その他1であった。

関与している職種は、歯科医師6、歯科衛生士17、管理栄養士19、保健師12、事務職6、その他12と様々であり、関係団体と連携しながら一緒に取り組んでいた。対象市区町村（自治体）をブロック別にみると、北海道2、東北1、関東4、東海北陸6、近畿3、中国4、四国0、九州沖縄2であった。

【考察・結論】

事例集の内容は幅広い内容となっており、事例の形態やマンパワーは、市区町村の既存のリソースで十分に対応できるものであると思われる。また、事業の実施に当たっては、様々な職種と力をあわせ、歯科医師会、歯科衛生士会、食生活改善推進等の団体等と連携することが示された。しかしながら、事例集に対する市区町村の活用状況については、令和5年度において実施できなかったことから、市区町村の規模・関係者や担当者・取組方法・活動方針などを踏まえた把握が今後の取組課題となると考える。

A. 研究目的

本研究では、田野らが行った令和4年度（2022年度）の自治体における「食育における歯科口腔保健の推進」に関する実態調査：聞き取り調査での事例の中から、令和5年度に更に内容を簡潔にするとともに新たな事例を増やし、歯科口腔保健を専門としない市区町村の食育担当者を対象とした「食育における「歯科口腔保健との協働」実践に向けた手引き」のライフステージ別にみた「食育における歯科口腔保健の推進」の普及を図ることを目的として、食育担当者の参考となるような「食育担当者に向けた「食育における歯科口腔保健の推進」事例集」を作成した。

B. 研究方法

1. 事例対象

事例対象は、全国の市区町村が実施している既存の食育事業に歯科保健の要素が入っている事業のうち、本研究班の安藤らが行った令和4年度（2022年度）の自治体における「食育における歯科口腔保健の推進」に関する実態調査、田野らが行った令和4年度（2022年度）の自治体における「食育における歯科口腔保健の推進」に関する実態調査：聞き取り調査および研究担当者等による情報をもとに、全国の市区町村が取り組みやすいと思われるライフステージごとの22事例を選定した。

2. 事例項目

事例項目は、事業名、アピールポイント、概要、目的、目標、対象、実施年・時期、事業形態、実施内容、歯科的要素を加味・導入したきっかけ、職種、連携団体等、連絡先とした。

3. 事例の収集方法

事例の収集方法は、研究代表者、研究分担者および研究協力者が、対面、オンライン、

電子メール等を用いた。なお、事例の収集に先立って、22事例の対象市区町村に研究班による協力依頼文と厚生労働省医政局歯科保健課歯科口腔保健推進室による協力依頼文を送付した。

対象市区町村は、事例項目に沿ってA4版用紙1枚に収まるようにあらかじめ記載し、対面、オンライン、電子メール等で事例の内容を整理した。併せて、対面またはオンラインでの内容は、対象市区町村の許可を得て録音し、事例作成に利用した。

事例項目である概要については、事業の紹介、歯科が関与した「売り」、連携を150字程度にまとめた。

実施日は、対象市区町村の職員と調整のうえ設定した。

3. 研究分担者・研究協力者との意見交換

研究分担者、研究協力者間での事例の作成方針、まとめ等は電子メール、対面で意見交換を行った。

4. 倫理面の配慮

倫理面の配慮について、対象市区町村の職員の氏名、そのほか事例収集により得た個人に係る情報は公表しないことを協力依頼文に明記し、対象市区町村の職員から同意を受けたうえで聞き取りを行った。

本研究は、国立保健医療科学院の研究倫理審査委員会において承認を得て実施した（承認番号：NIPH-IBRA#12398、12398-2）。

C. 研究結果

1. 事例の収集の概要

事例は、主に令和5年（2023年）9月27日（水）から令和6年（2024年）2月22日（木）までに行い、対象市区町村から22事例を収集した。なお、収集に際して、22事例以外に、対面またはオンラインの日程の調整困難などの理由で収集できなかった全国の市区町村があった。

対面またはオンラインによる方法は、対面が19事業、オンラインが3事業であり、市区町村の施設内の会議室などで行った。

22事例の対象市区町村の自治体名、事業名、事業の内容等を表1に示す。

事例の対象層のライフステージは、乳幼児3、園児等2、小学生3、園児等・小学生・若年層・中年層（未就学児から小学生までの児童とその保護者）1、中学生1、若年層1、中年層3、高年層3、全ライフステージ5であった。

事例の内容は、啓発（媒体作成）11、健康教育21、保健指導16、イベント3、その他9であった。

事例の形態は、直営18、委託1、一部委託2、その他1であった。

関与している職種は、歯科医師6、歯科衛生士17、管理栄養士19、保健師12、事務職6、その他12であった。

対象市区町村（自治体）をブロック別にみると、北海道2、東北1、関東4、東海北陸6、近畿3、中国4、四国0、九州沖縄2 であった。

表1 22事例の対象市区町村の自治体名、事業名、事業の内容等

ライフステージ	自治体名	事業名	事業の内容				事業の形態				関与している職種							
			啓発 (媒体作成)	健康教育	保健指導	イベント	その他	直営	委託	一部委託	その他	歯科専門職		歯科専門職以外				
												歯科医師	歯科衛生士	管理栄養士	保健師	事務職	その他	
①乳幼児	愛知県東海市	後期離乳食講習会																
	大阪府大阪市天王寺区	ももてんひろば(地域ふれあい子育て教室)																
	千葉県印西市	ブレママクラス																
②園児等	鹿児島県中種子町	おやこ食育教室																
	鳥取県岩美町	かみかみクッキングとかみかみロボット人形劇																
③小学生	北海道新ひだか町	学童向け健康教室																
	岐阜県土岐市	食育とお口の健康教室																
	福岡県福岡市	子ども食堂への歯科衛生士派遣																
②③⑤⑥	千葉県松戸市	松戸食育まつり																
④中学生	千葉県鎌ヶ谷市	早ね早起き朝ごはん食育講演会(中学校)																
⑤若年層	兵庫県川西市	1歳児親子歯科健診																
⑥中年層	愛知県尾張旭市	あなたのためのちょいやせ道場																
	北海道岩見沢市	糖尿病・高血圧重症化予防フォロー教室																
	新潟県胎内市	働き盛り応援事業(中小企業健康管理支援事業)																
⑦高年層	鳥根県浜田市	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業																
	奈良県田原本町	自立支援型地域ケア会議																
	愛知県蒲郡市	地域高齢者健康支援型配食サービス事業																
⑧全ライフステージ	千葉県茂原市	モーバとラッシーの歯ッピータイム																
	山口県柳井市	柳井市健康づくり計画「おいしいたのしい元気やない」																
	宮城県石巻市	石巻市民食育健康フェスティバル																
	岡山県倉敷市	イオンdeくら★けん〜COME 噛む★3ページ 大測定体験会!〜																
	愛知県大府市	噛むカム幼児教室・噛むカム長寿教室																
計			11	21	16	3	9	18	1	2	1	6	17	19	12	6	12	

2. 事例の概要等

各市区町村の22事例の概要等は次のとおりである。また、事例集はホームページ「食育における歯科口腔保健の推進」を考えている皆様へ(略称: 歯科食育サイト) <https://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/ohps/main/jirei.pdf> で公開している。

(1) 愛知県東海市

ア 事業名

後期離乳食講習会

イ アピールポイント

管理栄養士と歯科衛生士がそれぞれの専門性をいかした離乳食教室

ウ 概要

10 か月児とその保護者を対象に、離乳食の作り方や食べさせ方などに関する講習会。実際に食べながら、身体と口腔機能の発達と適した食形態を確認し、子どもの育ちの促し方を一緒に学ぶ。管理栄養士・保健師・歯科衛生士がそれぞれの専門性を発揮して子育て支援を進めている。

(2) 大阪府大阪市天王寺区

ア 事業名

ももてんひろば（地域ふれあい子育て教室）

イ アピールポイント

歯科医師会・衛生士会の参画を加えた親子歯科健診と歯科相談

ウ 概要

乳児子育て中の養育者を対象に、子育て教室の中で親子での歯科健診を実施し、歯の健康の必要性を伝え、関心を持ってもらう。乳幼児期からの虫歯予防の普及啓発を行いたいという歯科医師会からの申し入れがあり、もともと実施していた子育て広場のプログラムに親子での歯科健診、歯科相談を追加した。管理栄養士・保健師・歯科衛生士がそれぞれの専門性を発揮して子育て支援を進めている。

(3) 千葉県印西市

ア 事業名

プレママクラス

イ アピールポイント

他職種連携による妊娠・出産・育児支援事業

ウ 概要

妊婦とその配偶者（パートナー）を対象に、専門職による講話や実技を交えた講習会。歯科・栄養編、プレ育児編の2回コースで実施し、妊娠中の赤ちゃんとママの歯について歯科衛生士より講話とブラッシングの実習（希望者には歯垢染色）を行う。管理栄養士からは妊娠期に必要な栄養の講話と手軽に必要な栄養が摂れるレシピの紹介を行う。歯と口腔、栄養指導を同時に行うことで健全な母体への包括的な支援につなげる。

(4) 鹿児島県中種子町

ア 事業名

おやこ食育教室

イ アピールポイント

「食」と「歯」の大切さを親子で学び実践につなげる食育教室

ウ 概要

幼児から中学生までの親子を対象に、講話と料理で構成される「食と歯の大切さ」を学ぶ教室。歯科については、講話を通して、ライフステージにあわせてむし歯や歯周病の予防に焦点をあてた内容。管理栄養士が、食生活改善推進員（8020 運動推進員）の協力を得て行う、食と歯の重要性をあわせた食育教室。

(5) 鳥取県岩美町

ア 事業名

かみかみクッキングとかみかみロボット人形劇

イ アピールポイント

保育所での食育事業で歯科保健をとり入れた体験型の学び

ウ 概要

保育所年中児を対象に、よく噛んで食べることの大切さを学ぶ食育事業。噛み応えのあるおやつを手作りし、「よく噛んで食べることの大切さ」に関する話を聞いた後、試食。こども達には、話だけでなく、実際に食べる体験を加えることで、こどもの時から、よく噛んで食べる習慣づくりの意識啓発を行っている。

(6) 北海道新ひだか町

ア 事業名

学童向け健康教室

イ アピールポイント

歯科衛生士と保健師による放課後児童に向けた健康教室

ウ 概要

下校後の学童保育の場で、歯科保健と生活習慣に対する意識付け・知識普及を行う健康教育。保健分野の担当者間に「食べることを考えた時に口の状態も重要」という共通認識が根底にあり、事業を構築。事業立ち上げ時は、歯科衛生士と管理栄養士が連携し、現在は歯科衛生士と保健師で事業を展開。

(7) 岐阜県土岐市

ア 事業名

食育とお口の健康教室

イ アピールポイント

歯科衛生士と管理栄養士による小学生への食育とお口の健康教室

ウ 概要

全世代健康寿命延伸事業「ときげんきプロジェクト」の一環として、小学生を対象に食育とお口の健康教室を実施。具体的には、実際にご飯を食べてもらい、よく噛むことで味が変化することや、きゅうりを噛んだ時の音などを体

感。管理栄養士と歯科衛生士が、専門性をいかしながら事業の企画、運営、評価をした。

(8) 福岡県福岡市

ア 事業名

子ども食堂への歯科衛生士派遣

イ アピールポイント

子ども食堂での歯と口に関するクイズラリーと歯みがき指導

ウ 概要

子ども食堂を利用する児童を対象に、楽しみながら歯と口に関する知識と正しい歯みがきの方法を学ぶ。子ども食堂の敷地内に歯と口に関するクイズパネルを設置してクイズラリーを実施するとともに、答え合わせの場で歯みがき指導を行う。

(9) 千葉県松戸市

ア 事業名

松戸食育まつり

イ アピールポイント

食育のイベントによる歯科保健に関わる情報発信

ウ 概要

親子に食の楽しさや大切さを伝え、望ましい食習慣を身に付けてもらうことを目的に、市内在住の未就学児から小学生までの児童とその保護者を対象とした食育体験型イベント「松戸食育まつり」のプログラムの一環として、適切な歯みがきの方法を親子で学んでもらう。

(10) 千葉県鎌ケ谷市

ア 事業名

早ね早起き朝ごはん食育講演会（中学校）

イ アピールポイント

管理栄養士と歯科衛生士がそれぞれの専門的知識を融合した講演会

ウ 概要

子どもの望ましい食習慣の確立や生活リズム向上を目指し、中学1年生を対象に、朝ごはんや、食事バランスの大切さについて講演を実施し、子ども自身が理解を深め、望ましい食習慣を実践できるよう支援する。

(11) 兵庫県川西市

ア 事業名

1歳児親子歯科健診

イ アピールポイント

1歳児の歯科健診の機会に保護者も併せて健診を行う親子歯科健診

ウ 概要

1歳児の保護者が気にする子どもの健康に加え、保護者自身の歯科受診へ導くための歯科健診。子どもの発育やかむ力を育てるために重要な時期に、歯科だけでなく食育面からの教育や支援を導入。川西市歯科医師会と、保健センター管理栄養士との調整を行った。

(12) 愛知県尾張旭市

ア 事業名

あなたのためのちょいやせ道場

イ アピールポイント

多職種およびボランティア団体による健康づくり教室

ウ 概要

生活習慣の改善や健康増進のため、運動、栄養、歯についての保健指導を行い、一定期間をかけて実技や実習を通して健康づくりについて学ぶ。事業にかかわる専門職が、生活習慣の変容には歯と口の健康も必要であると考え、歯科のプログラムを取り入れた。多職種と、運動および食育のボランティア団体と連携した取組み。

(13) 北海道岩見沢市

ア 事業名

糖尿病・高血圧重症化予防フォロー教室

イ アピールポイント

糖尿病・高血圧重症化予防プログラムに歯科を入れたフォロー教室

ウ 概要

糖尿病・高血圧重症化予防プログラム指導修了者に対し、継続して生活習慣を改善していけるようフォロー教室を開催。歯周病と糖尿病との関係性を踏まえ、事業立ち上げ時から運動、栄養に歯科を加えた。保健師が中心となって教室を企画し、管理栄養士と歯科衛生士と連携をとりながら進めている。

(14) 新潟県胎内市

ア 事業名

働き盛り応援事業（中小企業健康管理支援事業）

イ アピールポイント

多職種と市民ボランティアで取り組む中小企業の健診会場における生活習慣病予防

ウ 概要

中条町商工会に所属する事業所の職員を対象に、健診会場にて生活習慣病予防に関する普及啓発を行う事業。幅広い年齢層に対して、チェックリストで現在の口腔状態を確認し、個々の悩みに無料で対応した。管理栄養士・保健師・

歯科衛生士が専門性を発揮し、さらに市民ボランティアと協働して歯科と生活習慣病の関係を説明した。

(15) 島根県浜田市

ア 事業名

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

イ アピールポイント

多職種連携による口腔機能向上と低栄養予防の取り組み

ウ 概要

島根県後期高齢者医療広域連合の委託を受けて、本事業での保健事業と介護部門・医療機関の一体的実施により、健康寿命の延伸に向けて、フレイルにつながる口腔機能低下や低栄養、生活習慣病の重症化予防等を行うため、医療専門職による健康教育や訪問等による相談・保健指導等を実施する。

(16) 奈良県田原本町

ア 事業名

自立支援型地域ケア会議

イ アピールポイント

口腔と栄養を重点にチームアプローチで取り組む地域支援事業

ウ 概要

口腔栄養アセスメントに課題がある者等を対象に、多職種によるアセスメントと本人の望む生活の実現に向けたアプローチの検討。地域支援において口腔と栄養を柱とした取り組みのなかで、自立支援型地域ケア会議は多職種による意見交換の機会。地域包括支援センターが、管理栄養士・歯科衛生士・薬剤師・看護師等と連携して、専門職が参画。

(17) 愛知県蒲郡市

ア 事業名

地域高齢者健康支援型配食サービス事業

イ アピールポイント

歯と食に焦点をあてて管理栄養士と配食業者が連携した高齢者のフレイル対策

ウ 概要

地域高齢者の通いの場を活用した「健康支援型の配食サービス」を推進し、フレイル予防等の介護予防に資する健康支援。口腔機能に焦点をあてた弁当開発やオーラルフレイルの内容を踏まえた健康講座を実施。管理栄養士が、配食業者、社会福祉協議会、大学・研究機関と連携し、保健師と協働して事業を展開。

(18) 千葉県茂原市

ア 事業名

モーバとラッシーの歯ッピータイム

イ アピールポイント

動画による歯科保健に関わる情報発信

ウ 概要

新型コロナウイルス感染症拡大により歯科衛生士による保育園・幼稚園や小学校・中学校の巡回歯科指導が実施できなかった期間があったため、歯科疾患予防のための知識の普及を図ることを目的に動画による情報発信を企画した。この中で、食に関係するテーマを取り上げた時、よく噛むことの大切さなどに重点を置いたよく噛むメニューや市の特産物長ネギなどを生かしたメニューを紹介した。栄養士や健康生活推進員会（食生活改善推進員）は積極的に連携し、レシピの考案や調理撮影と一緒に取り組んだ。

(19) 山口県柳井市

ア 事業名

柳井市健康づくり計画「おいしい たのしい 元気やない」

イ アピールポイント

一口メモ・おすすめレシピによる「歯科疾患予防」と「食育」に関する普及啓発

ウ 概要

柳井市健康づくり計画（食育推進計画含む）の推進内容のうち、「歯科疾患予防」と「食育」に関する普及啓発。歯科疾患の予防のために必要な、間食の摂り方やよく噛んで食べること等に関する一口メモやおすすめレシピを作成して市民に情報提供する。また、より広く市民に情報が届くよう、関係機関や企業での活用を進めている。

(20) 宮城県石巻市

ア 事業名

石巻市民食育健康フェスティバル

イ アピールポイント

食育健康に関するイベントに歯科のテーマも入れた取り組み

ウ 概要

市民の積極的な食育と健康づくりを広く推進することを目的とし、実行委員会を中心に企画運営を行っているイベント。食育、栄養、体力づくり、心の健康などと併せて、お口の健康についても講話や啓発ブースを設けて活動を行っている。幅広く子どもからお年寄りまで楽しみながら参加できるイベントを目指す。

(21) 岡山県倉敷市

ア 事業名

イオン de くら★けん～COME 噛む★3ベジ 大測定体験会！～

イ アピールポイント

産学官連携による体験型のイベントを通じた食や歯・口の健康づくり

ウ 概要

「くらしき3ベジプロジェクト」の取組みの一環として、若い世代や健康無関心層へのアプローチを強化した商業地や大学と連携してのイベント。歯科保健の内容は、楽しく気軽にできる測定体験等を通じて「噛むことと全身との健康づくり」について啓発。

(22) 愛知県大府市

ア 事業名

噛むカム幼児教室・噛むカム長寿教室

イ アピールポイント

食育推進の市民ボランティアが主催する親子と高齢者への歯科と栄養の講座

ウ 概要

幼児向け（親子）と高齢者向けの、歯科と栄養を融合させた全3回シリーズの講座。住民から寄せられる栄養相談の背景に、口腔機能が関係していると管理栄養士が考えたことから、事業化につながった。講座は、食育推進員による寸劇に加えて、歯科医師・管理栄養士・歯科衛生士が講話や調理等のプログラムで構成される。

D. 考察

「食育担当者に向けた「食育における歯科口腔保健の推進」事例集」は、「食育における「歯科口腔保健との協働」実践に向けた手引き」と一体化して作成した。手引きでは、食育の推進にとって歯科保健は下支えする重要な要素であることから、市区町村の食育担当者が歯科保健を食育の各事業の中でどのように反映させれば良いかを記してある。

そこで、事例集では、既存の食育事業に歯科保健の要素が入っている全国の各市区町村で実施されている取組事例をライフステージ別に紹介した。

事例の対象層のライフステージは、市区町村の協力を得られたため、手引きに基づいてすべて収集できた。本研究班の安藤らが行った令和4年度（2022年度）の自治体における「食育における歯科口腔保健の推進」に関する実態調査の結果とほぼ同様に、事例の内容は健康教育、保健指導、啓発（媒体作成）が主であるが、他にイベント、その他があり幅広いものとなった。事例の形態は、直営がほとんどを占めており、また、マンパワーについては、管理栄養士、歯科衛生士、保健師が主な担い手であった。本事例集は市区町村の既存のリソースで十分に対応できるものとなった。

事例の概要等について、乳幼児の3事例は、管理栄養士、保健師、歯科衛生士、事務等と一緒に、食生活改善推進員、歯科医師会、歯科衛生士会等と連携しながら母子保健事業の中で食育事業に取り組んでいる。園児等の2事例は、保育所等に管理栄養士、施設の職員等と一緒に、食生活改善推進等と連携しながら健康教育等の中で食育事業に取り組んでいる。小学生の3事例は、管理栄養士、保健師、歯科衛生士、事務等と一緒に、歯科衛生士会等と連携しながら健康教育等の中で食育事業に取り組んでいる。未就学児から小学生までの児童とその保護者の1事例は、市の職員、学校の職員等と一緒に、大学等と連携しながら健康教育等の中で食育事業に取り組んでいる。中学生の1事例は、管理栄養士、歯科衛生士等と一緒に、学校関係者等と連携しながら健康教育等の中で食育事業に取り組んでいる。若年層の1事例は、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、保健師、事務等と一緒に、食生活改善推進員、歯科医師会等と連携しながら保健指導等の中で食育事業に取り組んでいる。中年層の3事例は、管理栄養士、保健師、歯科衛生士、健康運動指導士等と一緒に、医師会、歯科医師会、歯科衛生士会、ボランティア団体等と連携しながら健康教育等の中で生活習慣病等を踏まえた食育事業に取り組んでいる。高年層の3事例は、管理栄養士、保健師、歯科衛生士、理学療法士等と一緒に、様々な職能団体、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、配食業者等と連携しながら健康教育等の中でフレイル予防等を踏まえた食育事業に取り組んでいる。全ライフステージの5事例は、管理栄養士、保健師、看護師、歯科衛生士、事務等と一緒に、各職能団体、食生活改善推進員等と連携しながらイベントや動画等を通して健康教育等の中で食育事業に取り組んでいる。以上のことから、事業の実施に当たっては、様々な職種と力をあわせ、歯科医師会、歯科衛生士会、食生活改善推進等の団体等と連携することが示された。

しかしながら、事例集に対する市区町村の活用状況については、令和5年度において実施できなかったことから、市区町村の規模・関係者や担当者・取組方法・活動方針などを踏まえた把握が今後の取組課題となると考える。

E. 結論

事例集の内容は幅広い内容となっており、事例の形態やマンパワーは、市区町村の既存のリソースで十分に対応できるものであると思われる。また、事業の実施に当たっては、様々な職種と力をあわせ、歯科医師会、歯科衛生士会、食生活改善推進等の団体等と連携することが示された。

本論文に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。

F. 引用文献

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- (1) 田野ルミ、安藤雄一、深井獲博、中西明美、吉森和宏、石川みどり、池田康幸、福田英輝. 「食育における歯科口腔保健の推進」を考える. 第31回日本健康教育学会学術大会. 東京. 2023.

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

I. 謝辞

本研究に際し、ご協力をいただきました市区町村の皆様に深謝申し上げます。